

令和5年度「読書県しずおか」づくり表彰 優秀実践

■ 学校名

袋井市立袋井北小学校

■ 所在地

袋井市久能1580番地

■ 基本データ

校長氏名	山崎 稔宏
担当者名	安間 弘行
電話番号	0538-42-3024
児童・生徒数	976名 (6/1現在)

活動実績

- ① 週4日の朝読書時間の設定
- ② 読書活動の推進（親子読書旬間）
- ③ 図書館利用推進のための掲示（子供同士によるおすすめの本の紹介）
- ④ 袋井図書館職員やボランティアによる読み聞かせ
- ⑤ 図書委員による図書館運営の参加
- ⑥ 学級文庫の定期的な入れ替え

■ 活動の特色

本校では、週4日の朝読書の時間を設定している。
 図書館へ足を運ぶ児童を増やすために、図書委員による子供同士による推薦図書の紹介や本の紹介掲示、日々の図書館運営を行っている。
 また、本に興味や関心をもつ機会を増やすために、学級文庫の本を定期的に入れ替えている。あわせて、袋井図書館職員やボランティアによる読み聞かせを行い、本の魅力を伝える取組を行っている。



児童への働きかけとして、袋井図書館職員が、給食の時間に校内放送で全校児童に向けて物語などの朗読をしている。黙食の時間を活用することで、物語の内容をじっくりと聞くことができ、物語を楽しむきっかけづくりとなっている。

■ 活動の成果

コロナ禍による図書館への入室児童数制限が解除されたことが重なり、図書委員による図書館利用推進のための活動や、定期的に行われる袋井図書館職員やボランティアによる読み聞かせ活動により、図書館へ足を運ぶ児童は増えている。最も貸し出し冊数が多かった月は、7月で1,741冊であった。
 また、親子読書旬間の設定により、校内だけではなく保護者を巻き込んだ読書活動を展開することができた。



今まで1年間入れ替えをしていなかった学級文庫を3か月ごとにローテーションすることで、「図書の新鮮化」を図っている。読書好きな児童には新しい本が読める喜びを感じてもらえ、読書に親しんでいない児童には本が入れ替わることで気になる本を見つけるきっかけを増やしている。

■ 学校図書館の状況

「学校図書館活用計画」の作成	<input type="radio"/>	「学校図書館図書標準」の達成	<input type="radio"/>
新聞の配備	<input type="radio"/>	推薦図書の選定	<input type="radio"/>
図書資料のデータベース化	<input type="radio"/>	館内のインターネット利用環境	<input checked="" type="radio"/>
司書教諭の発令	<input type="radio"/>	司書教諭の授業時数の軽減	<input type="radio"/>
学校司書の配置	<input type="radio"/>	校内研修(学校図書館の活用)の実施	<input type="radio"/>
公立図書館との連携	<input type="radio"/>	読書ボランティアとの連携	<input type="radio"/>



新しく図書室にはいった本の紹介を、児童一人一人が持っているタブレット端末に登録したり、図書室に「新しい本コーナー」や本の表紙を見せたディスプレイコーナー、季節ごとの掲示に合わせたおすすめ図書コーナーなどを作ったりし、児童に興味をもってもらえるよう働きかけている。